

令和3年度 「学校経営方針」

小浜市立加斗小学校

1 基本方針

- (1) 学校の役割は、子どもの「**学びと成長の場**」を保障することにある。子ども一人ひとりに内在する「成長する力」を引き出し、個に応じてよりよく伸ばす責務を負っていることを自覚し、より教育力のある学校づくりを推進する。
- (2) 本校は、地域の心のよりどころであり、地域や保護者に期待されている。保護者や地域の方と協力し合い、地域の学校として、**地域に信頼され親しまれ、明るく活気がある学校**づくりに努める。
- (3) 本校のよき伝統と校風を継承しつつ、不易と流行を見極め、時代の変化や社会の要請を敏感に受け止めながら、教職員が知恵を出し合い、心を合わせて協働し、前例にとられない**新たな教育活動を創造**していく。

2 学校教育目標

社会の変化に対応でき、心身ともに健康で知性と感性ならびに道德心に富み、心豊かにたくましく生きる人間の育成をめざし、次の教育目標を設定する。

「自ら学び、共に伸びる加斗っ子」

- ・自ら学び（自立） ……自立を、子どもたちの自己実現のために必要な力ととらえ、自分の考えを持ち、自己表現ができ、自ら判断し行動できる子の育成を図る。
- ・共に伸びる（共生） ……自立を基盤に、他者への思いやりやふるさとを愛する心を持ち、仲間と共に伸びようとする子の育成を図る。

3 めざす学校像

子どもが自己実現できる学校—「学びと成長の場」

子ども一人ひとりが、仲間と明るくふれあいながら、互いに個性を発揮して主体的に学び、自らの願いや課題を達成した喜びを味わうことのできる学校

4 めざす児童像

「仲間と助け合う子」 「自分で学習する子」 「たくましい心と体を持つ子」

5 めざす教職員像

誠意とチャレンジ精神のある教職員

- ・学校に係るすべての人（児童・保護者・地域の人・同僚等）に対して、誠意を持って対応し、教育活動のベースである信頼関係を構築する。
- ・授業や学級経営、校務に創意工夫を凝らし、生き生きとした教育活動を展開する。
- ・「教師は授業で勝負する」—日々の授業を大切に、情熱をもって教育活動にあたり、子どもにとってかけがえのない今日そして今を大切にする。
- ・同僚性をはぐむ教職員の協働を大切に、校内外に広く研修の場を求め、組織としての力量を向上する。
- ・学校は「子どものためにある」と認識し、諸課題の判断基準を「子ども」におく。
- ・日々の教育活動や校務の遂行にあたっては、「服務等に関する確認事項」をもとに、報告・連絡・相談を密にして確実にしていく。
- ・共通理解と同一歩調を基に生徒指導に臨む。また児童理解に努め教育相談的手法で、きめ細かい指導をする。

- ・働き方改革を意識し、見通しと計画性をもって業務にあたり、心身共に明るく元気に子どもとかかわる。
- ・教育公務員としての使命を自覚して、中教審答申で示された「あるべき教師像」（「教職に対する情熱」「教育の専門家としての確かな力量」「総合的な人間力」）の深化・向上等に努める。

6 具体的方策

(1) めざす児童像の実現にむけて（発達段階に応じて指導する）

「仲間と助け合う子」—思いやりの心や規範意識の醸成

- ① 支え合い高め合う仲間づくりを通して、心の居場所のある学校・学級づくりをする。
（「いじめ問題への対応」「個に応じた指導」「教育相談活動の充実」「遊びを通じた仲間づくり」「縦割り活動・自治的活動」）
- ② 体験活動や心が響きあう「道徳の時間」の充実に努め、道徳的実践力のある子を育成する。
（「総合単元的道徳学習」「体験活動を活かした道徳教育」「奉仕やボランティア精神の育成」）
- ③ ルールを守ることやマナーの大切さを教え、善悪の判断のできる子を育成する。
（「集団生活」「規範意識の醸成」「毅然とした指導」「家庭・地域との連携」）

「自分で学習する子」—学習意欲の喚起と基礎基本の定着

- ① 指導方法や学習形態を工夫するなど授業改善を図り、基礎基本の定着を図る。
（「学力向上」「授業研究・現職研修の充実」「国語・算数重点単元」「反復学習」）
- ② 一人一人の学習状況をもとに個に応じた指導を推進し、学ぶ意欲・態度・習慣を育てる。
（「学ぶ意欲・態度・習慣」「個に応じた指導」「ICT活用」「家庭学習の習慣化」）
- ③ 「総合的な学習の時間」を充実させ、問題発見・課題解決的な学習方法が身につくようにする。
（「総合的な学習の時間で育てたい資質・能力」「地域のひと・もの・こと」「教科・領域との関連」）

「たくましい心と体をもつ子」—基本的生活習慣の定着と食・健康の自己管理能力の育成

- ① 食の教育を計画的に推進し、いのちや健康を大切にすると共に望ましい食習慣を身につけさせる。
（「家庭・地域との連携」「系統性・内容精選」）
- ② 体育的活動を創意工夫し、運動好きな子を育成すると共に体力・技能の向上を図る。
（「個人・集団の目標」「体育的行事の充実」「業間活動の充実」）
- ③ 基本的生活習慣・行動様式を定着させるために継続的に指導する。
（「生活目標の設定」「あいさつ・返事・言葉遣い・姿勢・整理整頓、敬語・敬称」「家庭・地域との連携」）
- ④ 新型コロナウイルス感染拡大防止の対応として、手洗い、マスクの着用、「3密」を避ける、下校後の消毒など「新しい学校生活様式」を指導し確立していく。

(2) 本校の重点課題—コミュニケーション能力の育成

- ① 聞く・話す・話し合いのルールやスキルの定着を図り、コミュニケーション能力を高める。
（「学習ルールの確立・定着」「伝える力の向上」「言語活動の充実」「ツールとしての日常的ICT機器活用」）
- ② 読書活動の充実に努め、豊かな感性を醸成する。
（「読書時間の確保」「読み聞かせ」「図書室の環境整備」「家庭での読書活動」）
- ③ 家庭・地域と連携して「すすんであいさつする子の育成」を推進する。
（「家庭・地域・学校協議会・PTA活動・公民館活動等との連携」）